

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 岐阜県農業フェスティバル開催費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内4064)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,575 千円 (前年度予算額： 22,575 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,575	11,287	0	0	0	0	0	0	11,288
要求額	22,575	0	0	0	0	0	0	0	22,575
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県農業フェスティバル実行委員会が行う、第37回岐阜県農業フェスティバルの開催に伴う経費の一部負担を行う。

(2) 事業内容

【開催趣旨】岐阜県の農業のPR、県産農畜水産物や加工食品の消費拡大等を通じた本県農業の一層の活性化を目的として、県、市町村、農業関係団体、食品産業団体などとの連携により開催

【主催】岐阜県農業フェスティバル実行委員会

(構成団体：岐阜県、JA岐阜中央会ほか県農業関係団体等)

【開催時期】令和8年10月24日(土)、25日(日)

【開催場所】OKBぎふ清流アリーナ及びその周辺

【開催実績】来場者数：151,000人(R7)、販売額：48,777千円(R7)

（３）県負担・補助率の考え方

岐阜県農業フェスティバルは、毎年２０万人前後が来場する県下最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のＰＲや地域農産物の消費拡大を主体的に実施する必要がある、開催にかかる経費の負担は妥当。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	22,575	岐阜県農業フェスティバル実行委員会への負担金
合計	22,575	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和８年３月策定予定）

＜基本方針３＞重点施策（３）消費者との信頼関係構築による販路拡大

（２）後年度の財政負担

岐阜県農業フェスティバルは、毎年２０万人前後が来場する県内最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のＰＲ、地域農産物の消費拡大を促進する取組として、継続的な開催支援が必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県農業の現状と将来方向を広く県民にPRするとともに、県産農畜水産物や加工品の消費拡大等を通して、本県農業の一層の活性化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S60)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①来場者数	0	217,000	151,000	150,000	150,000	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	<p>第34回岐阜県農業フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年ぶりの開催となったが、20万6千人が来場し、岐阜県の農畜水産物、加工食品、県政の取組をPRすることができた。 ○開催時期：令和5年10月28日（土）、29日（日） ○開催会場：OKBぎふ清流アリーナ及び県庁周辺 ○主な催事内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ひだみの特産品コーナー（県産農産物・農産加工品の販売、料理提供） ・ひだみのスイーツマルシェ（県産和洋スイーツの販売） ・全国農福連携マルシェinぎふ（全国の農福連携商品の販売） ・ぎふフラワーフェスティバル（県産花きのPR展示、販売）など <p>指標① 目標：190,000人 実績：206,000人 達成率：108%</p>
令和6年度	<p>第35回岐阜県農業フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去最高の21万7千人が来場し、岐阜県の農畜水産物、加工食品、県政の取組をPRすることができた。 ○開催時期：令和6年10月26日（土）、27日（日） ○開催会場：OKBぎふ清流アリーナ及び県庁周辺 ○主な催事内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ひだみの特産品コーナー（県産農産物・農産加工品の販売、料理提供） ・ひだみのスイーツコーナー（県産和洋スイーツの販売） ・全国農福連携マルシェinぎふ（全国の農福連携商品の販売） ・ぎふフラワーフェスティバル（県産花きのPR展示、販売） ・県試験研修成果、JA等関係団体の紹介、畜産振興・水産PRほか <p>指標① 目標：200,000人 実績：217,000 達成率：109%</p>

令和7年度	第36回岐阜県農業フェスティバル ・雨天にも関わらず、15万1千人が来場し、岐阜県の農畜水産物、加工食品、県政の取組をPRすることができた。 ○開催時期：令和7年10月25日（土）、26日（日） ○開催会場：O K B ぎふ清流アリーナ及び県庁周辺 ○主な催事内容 ・ひだみの特産品コーナー（県産農産物・農産加工品の販売、料理提供） ・環境にやさしいマルシェ（有機農産物や環境に配慮した農産物の販売） ・農福連携マルシェinぎふ（全国の農福連携商品の販売） ・ぎふフラワーフェスティバル（県産花きのPR展示、販売） ・県試験研修成果、JA等関係団体の紹介、畜産振興・水産PRほか
	指標① 目標：200,000人 実績：151,000 達成率：76 %

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	・約20万人の来場者があり、食と農に関する県内最大級のイベントとして定着しており開催を期待する声は多い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	・多くの県民に県農政をPRする絶好の機会となっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	・実行委員会形式をとり、関係団体及び出展団体に費用負担している。 ・競争入札、見積合わせを行うなど経費の削減が図られている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・物価や人件費の高騰に伴い会場設営、警備業務等の経費が高くなっている。 ・出展料の高額化により農業生産者の出展が減少している。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・本フェスティバルの継続開催を望む声は多く県民ニーズが高い ・一方で、同時期に類似するイベントがある他、物価高騰により開催経費が増加しているため、開催趣旨や内容、開催規模、運営方法等を実行委員会内で見直し、効果的なPR方法を再構築する。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	